

山羊の削蹄



家畜改良センター 長野支場

○山羊の健康管理のために、定期的な削蹄を行いましょ。

- ・削蹄を怠ると蹄の変形を招き、歩行困難や蹄の病気を引き起こします。また、一度変形した蹄は、矯正が難しくなります。
- ・山羊の蹄は、1ヶ月で約2mm伸びます。
- ・雌は1～2ヶ月に1回、雄は1ヶ月に1回の頻度で削蹄を行いましょ。

○山羊の蹄

- ・外側は固く伸びが早く、中心部は柔らかく伸びが遅い。



削蹄前

外側
固く伸びやすい

中心部
柔らかく伸びが遅い



削蹄後

○必要な器具

- ・植木用の剪定鋏。
その他のナイフ等でもよい。

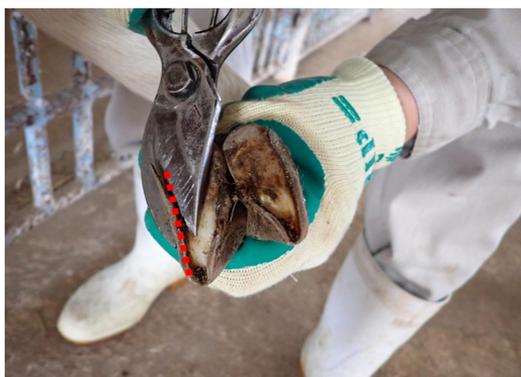


植木用剪定鋏

○削蹄の手順



①蹄に詰まった土などを除く



②まず外側(赤線分)を切る。鋏を外側に向け伸びた部分を中側のクッション部分の高さまで切る。



③次に内側を切っていく。ハサミを内側に向け内側の伸びた部分を中側のクッション部分の高さまで切る。



④片方を切ったところ。左右が同じ高さになるようにもう片方も切る。



⑤最後に尖った先端を少し切り落とす。

ポイント

- ・左右のうち伸びている方から切る
- ・左右の高さが同じとなるように。
- ・慣れないうちは少しずつ切る
- ・うっすらとピンク色が見えたら切るのを止める。



当場では、山羊飼養技術や山羊人工授精技術に関する個別研修の受入れを行っています。また、日本ザーネン種山羊の育種改良素材(生体)や精液の配布(有償)を行っています。

お問い合わせはこちらまで

(独)家畜改良センター長野支場 種苗業務課 〒385-0007 長野県佐久市新子田2029-1

TEL 0267-67-2501 FAX 0267-68-4743 HP: <http://www.nlbc.go.jp/nagano/>